

令和6年度
厚木市青少年問題協議会

ヤングケアラーについて
～子どものSOSを見逃さないために～

令和6年6月28日（金）
湘北短期大学保育学科 高橋雅人

お話ししたいこと！

1. ヤングケアラーとは
2. ヤングケアラーの影響
3. ヤングケアラーの思い
4. 川端康成が教えてくれたこと
5. SOSを見逃さないために、我々がすべきことは

1. ヤングケアラーとは

「-家族の介護その他の日常生活上の世話を
過度に行っていると認められる
子ども・若者-」

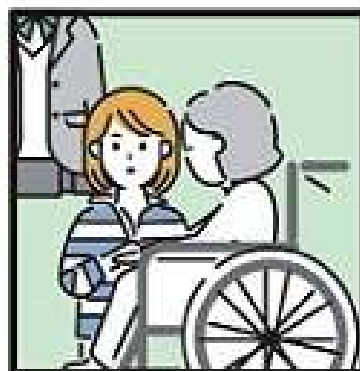
「子ども・若者育成支援推進法」 第二条の七



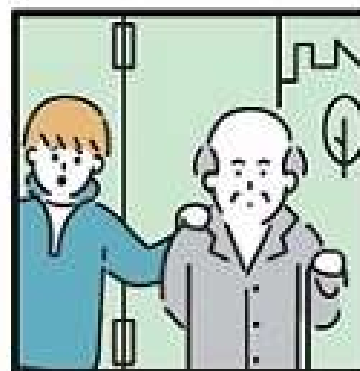
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の難せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ヤングケアラー どのくらいいるのか

概ねクラスに
2人くらい

○ヤングケアラーの調査研究（国の調査）

令和2年度：中学2年生（5.7%）、高校2年生（4.1%）

令和3年度：小学6年生（6.5%）、大学3年生（6.2%）

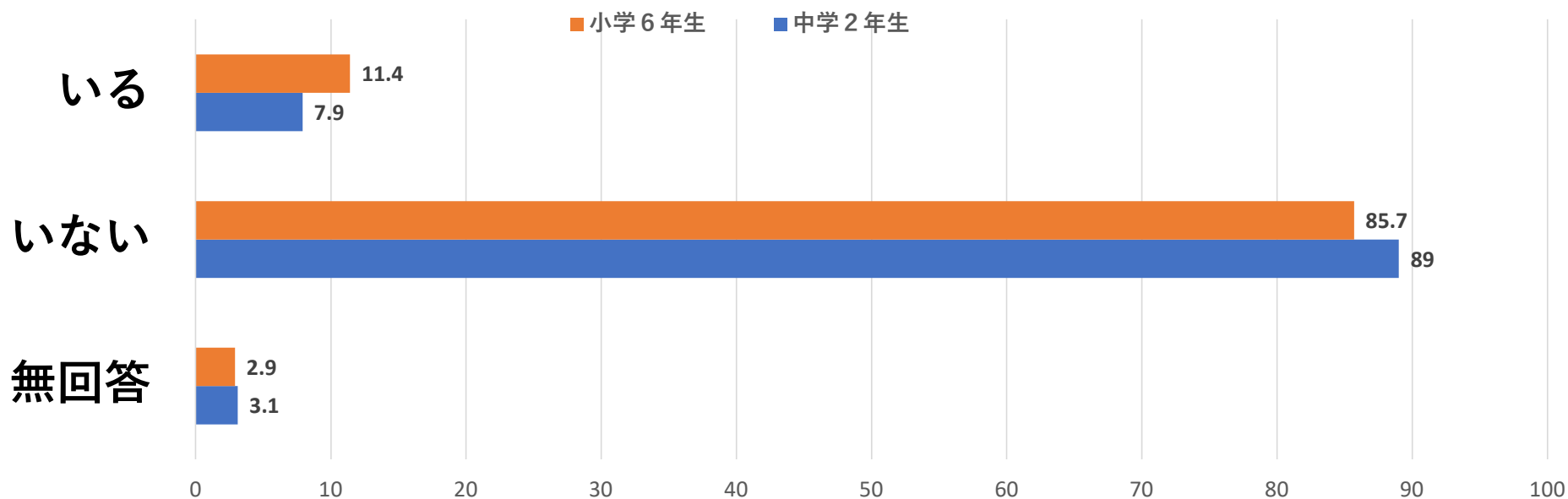
○「厚木市児童・生徒の生活実態に関するアンケート調査」

令和4年度：小学6年生11.4%・中学2年生7.9%

令和4年度 厚木市児童・生徒の生活実態に関する アンケート調査より

- ① 世話をしている家族の有無
- ② 世話を必要としている家族
- ③ 世話をしている頻度
- ④ 平日1日あたりの世話に費やす時間
- ⑤ 学校や大人にしてもらいたいこと

①世話をしている家族の有無

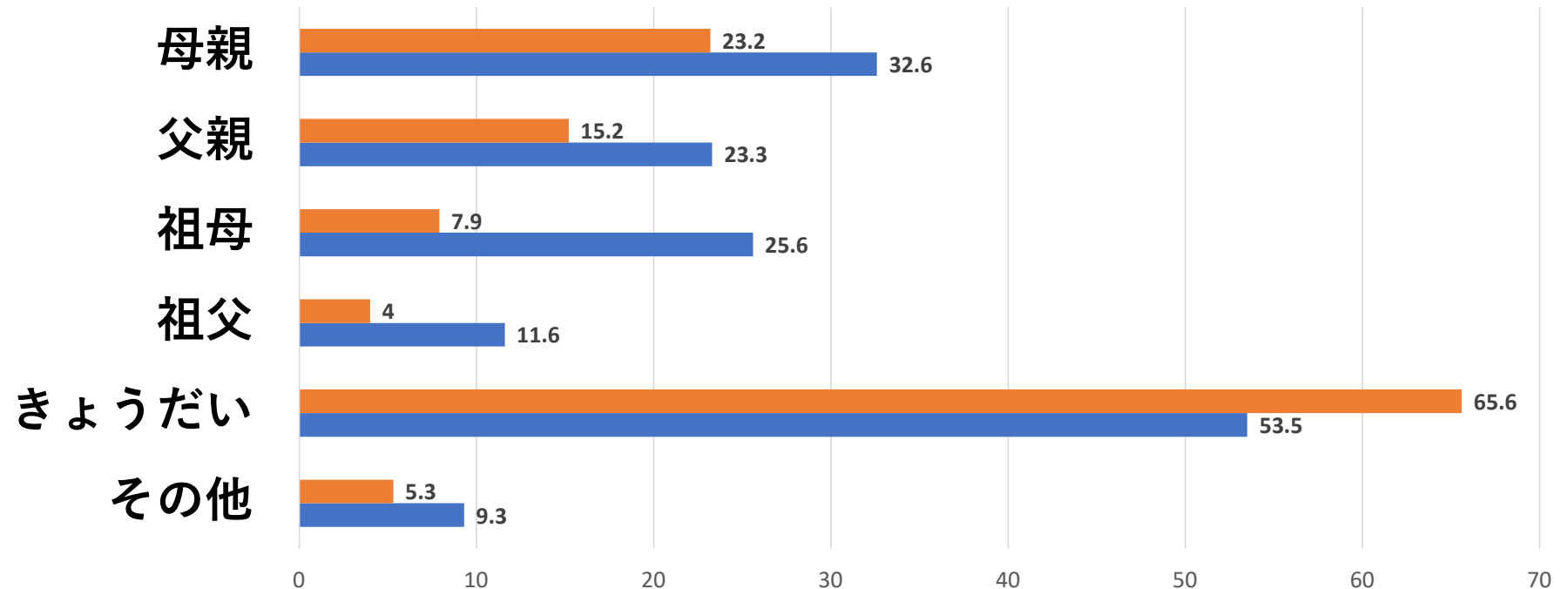


	無回答	いない	いる
小学6年生	2.9	85.7	11.4
中学2年生	3.1	89	7.9

②世話を必要としている家族

■ 小学6年生

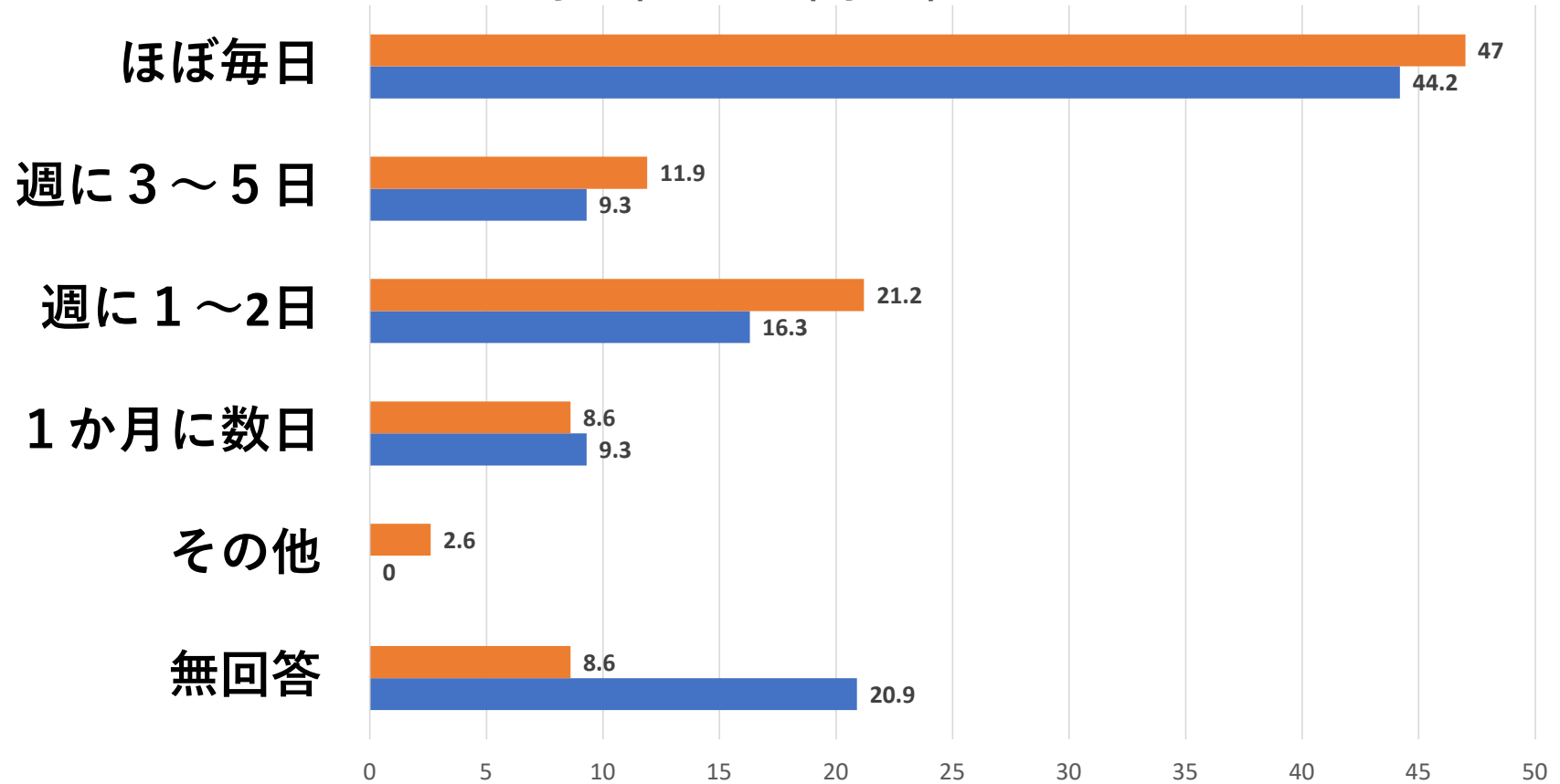
■ 中学2年生



	その他	きょうだい	祖父	祖母	父親	母親
小学6年生	5.3	65.6	4	7.9	15.2	23.2
中学2年生	9.3	53.5	11.6	25.6	23.3	32.6

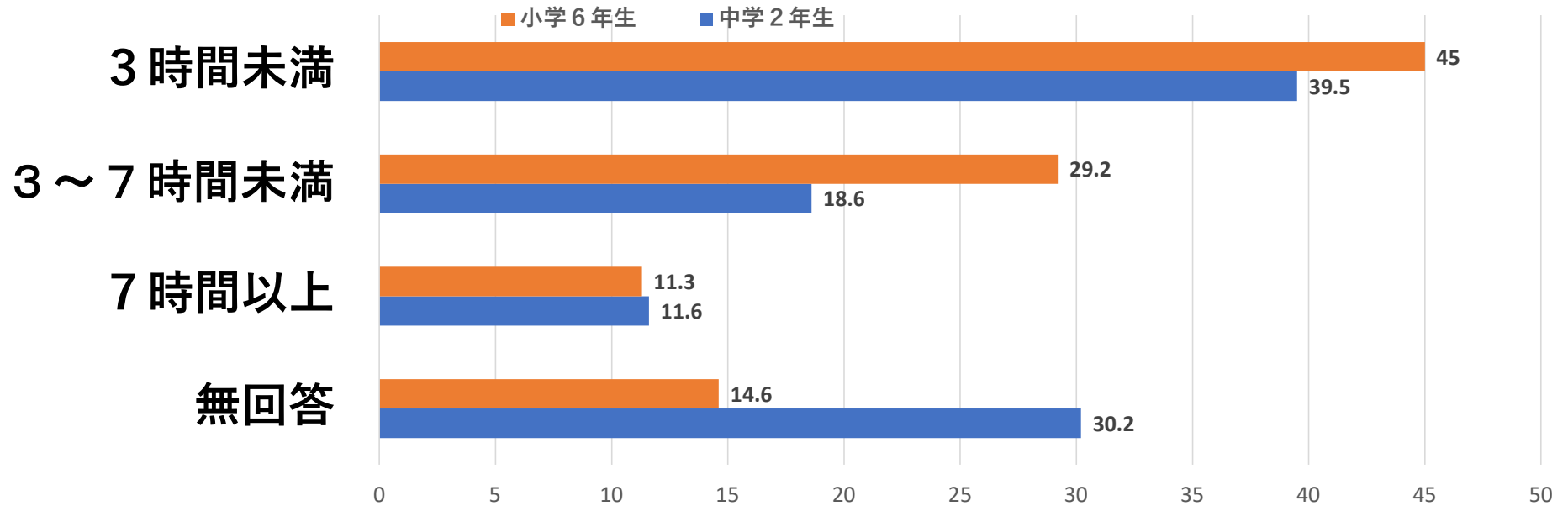
③世話をしている頻度

■ 小学6年生 ■ 中学2年生



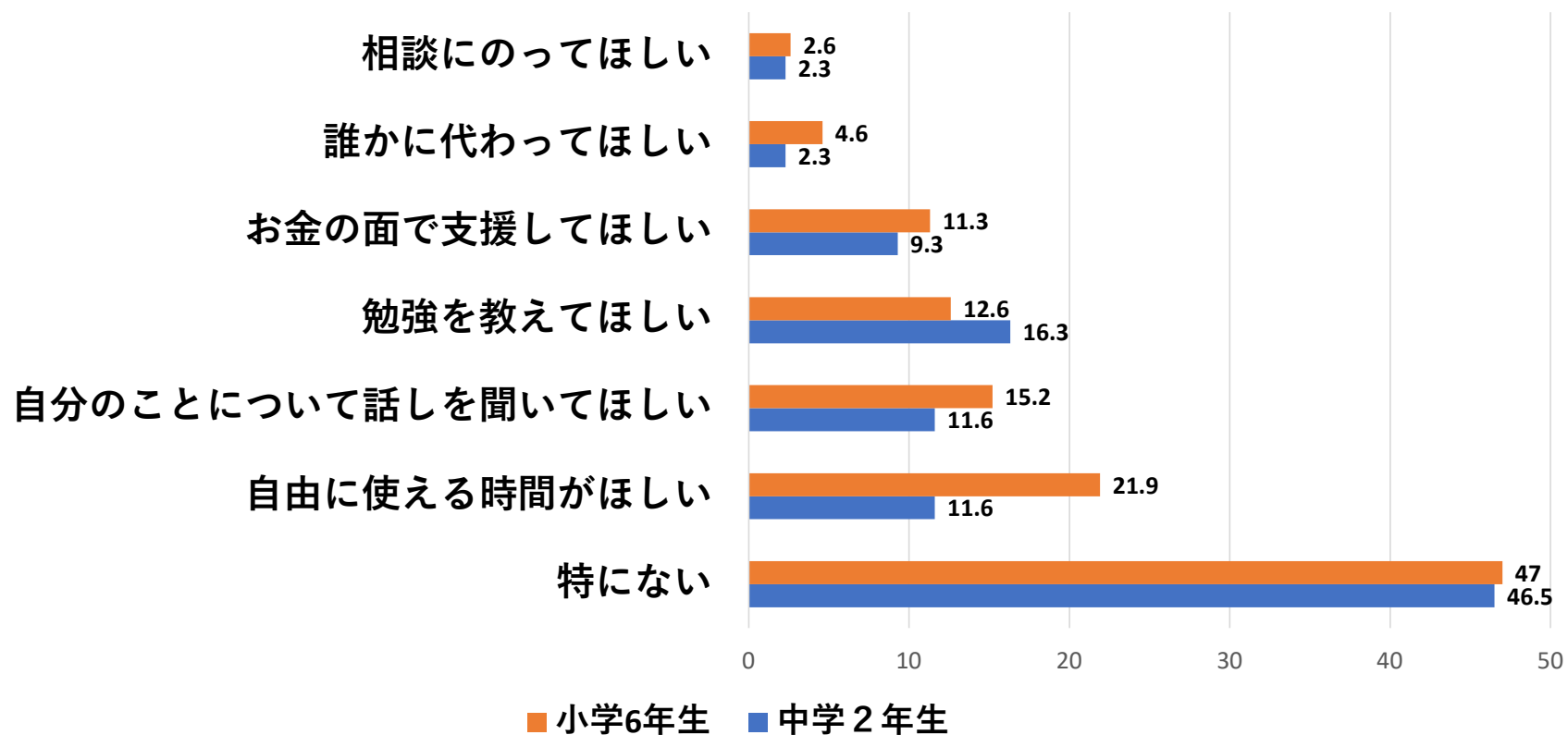
	無回答	その他	1か月に数日	週に1～2日	週に3～5日	ほぼ毎日
小学6年生	8.6	2.6	8.6	21.2	11.9	47
中学2年生	20.9	0	9.3	16.3	9.3	44.2

④平日 1 日あたりの世話に費やす時間



	無回答	7 時間以上	3 ～ 7 時間未満	3 時間未満
小学 6 年生	14.6	11.3	29.2	45
中学 2 年生	30.2	11.6	18.6	39.5

⑤学校や大人にしてもらいたいこと



ヤングケアラーが起きてしまう背景

- ・ 核家族化（一世帯当たりの人数、激減）
- ・ ひとり親世帯の増加
- ・ 共働き世帯の増加
- ・ 要介護者の増加
- ・ 地域社会の希薄・衰退

2. ヤングケアラーの影響

○年齢に合った家族のケアは、
道徳心や責任感、やさしさを養う

△心身の健康、発達に影響が出る

△学業不振、部活に入れない。進学や就職に影響

△友人と過ごす時間がなくなる

△イライラを被介護者、自分にぶつける

△「子どもの権利」が守られていない！

「過度に」とは

「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」の
一部施行について（ヤングケアラー関係）

こどもにおいてはこどもとしての健やかな
成長・発達に向けた移行期として必要な時間
（遊び・勉強等）を、若者においては自立に
向けた移行期として必要な時間（勉強・就職
準備等）を奪われたり、ケアに伴い身体的・
精神的負荷がかかったりすることによって、
負担が重い状態になっている場合。

3. ヤングケアラーの思い

- ① いつ終わるかわからない、先が見えないことが
とても不安。孤独を感じている。
- ② 家族のことは言いたくない、知られたくない。
「誰を」「何を」頼ってよいのかわからない。

- ① いつ終わるかわからない、先が見えないことが
とても不安。孤独を感じている。

ヤングケアラーも

子どもは、出口の見えないトンネルを
進んでいるように感じています。

不安でたまらないことが想像できます。

いじめを
うけている子も

虐待を
受けている子も

② 家族のことは言いたくない、知られたくない。 「誰を」「何を」頼ってよいのかわからない。

私は
「かわいそう」な
子じゃない

大好きな家族が病気だから
私が世話をするのは当たり前

「なやみを伝えるときに、誰にも言わないでほしい」。

厚木市の調査、小学生の意見より

誰かに言ったって
何もかわらないし

4. 川端康成が教えてくれたこと

川端康成が教えてくれたこと

お手伝いの「おみよ」がいたことで、川端は「楽園」と称する学校に通うことができた。

「人」の存在が、子どもの介護の負担を軽減していることがわかる。

「おみよ」がいなければ、祖父の介護を川端が一人で一日中担っていたのではないか。

5. SOSを見逃さないために、 我々がすべきことは

今後、超高齢社会、核家族やひとり親・
共働き家庭の増加などで、ヤングケアラーも
増えたと予測。
そこで～



子どものSOSを見逃さないために、 人生経験豊富な大人の「カン」が頼りです！

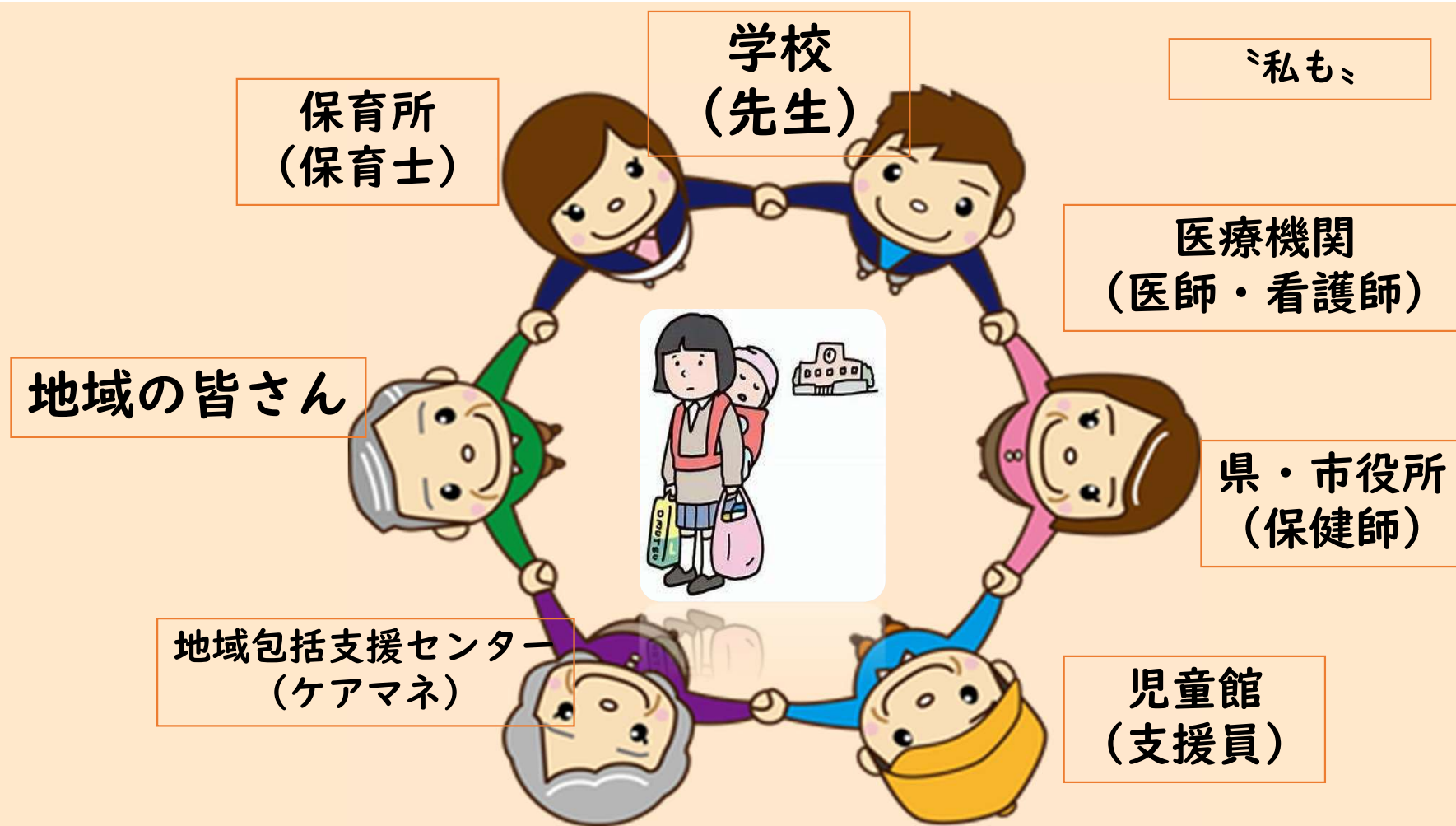
- ・学校へ行っている時間に…、なぜ学校に行っていないの？
- ・毎日アルバイトをしている。
- ・進路をあきらめたと言っている。
- ・部活(習い事)に夢中だったのにやめてしまった。
- ・こども食堂や児童館に来るが表情が暗い、来なくなった。
(様子がおかしいな～) と思ったら、声をかけてください。

◇令和２年度調査の自由意見より◇

「ヤングケアラーは自覚がないことが多く、自ら声をあげにくい。周囲が目を配り、寄り添い、支援していくことが必要だと思う」

☆周囲の大人の気づき、理解と寄り添いが、多くのヤングケアラーを発見・支援することにつながる！

皆さんで気づいてあげて、声をかけ、支援の輪を広げましょう！



～参考・引用文献や調査研究資料～

- ・ヤングケアラーについて（こども家庭庁）
- ・こども家庭庁通知「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」の一部試行について（ヤングケアラー関係）
- ・令和2年度ヤングケアラーの実態に関する調査研究（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）
- ・令和3年度ヤングケアラーの実態に関する調査研究（株式会社日本総合研究所）
- ・令和4年度厚木市児童・生徒の生活実態に関するアンケート調査報告書（厚木市）
- ・令和2年度国勢調査（総務省統計局）
- ・子ども・若者育成推進法（e-Gov法令検索）
- ・ヤングケアラー支援者の役割と連携（ぎょうせい）
- ・ヤングケアラーを知っていますか？～家族のケアを担う子どもたち～（島根大学 宮本恭子先生のパネル）
- ・伊豆の踊子・温泉宿（岩波書店）
- ・ヨミダス歴史館（読売新聞）
- ・クロスサーチ・フォーライブラリー（朝日新聞）

ご清聴ありがとうございました。

湘北短期大学 保育学科 高橋雅人